

コラムを読み解く(中学・国語)

()中学校()年()組 氏名()

南風録

コアラの主食であるユーカリの木を見かけると、休日でもつい目が向いて品定めしてしまう。鹿児島市の平川動物公園に勤める飼育員の「あるある」だそうだ。飼育頭数日本一を誇る園が出した「すごいコアラ！」(新潮社)にあった▼人気者の不思議な生態とともに、スタッフの日常も紹介している。相手が生き物である以上、別れも来る。みどりの時を迎えた個体にはつきつきりで食事を与え、できるだけそばにいるのだという▼「最期まではコアラ担当に限らないはずだ。それがかなわない時代もあった。前身の鴨池動物園には、生き物たちが人間の手で命を絶たれた歴史が残る▼太平洋戦争中、1943(昭和18)年秋のこと。「空襲が来たら危ない」との名目で軍から猛獣処分の命令が届き、ライオン2頭、クマ7頭、ワニ4匹、ニシキヘビ2匹が殺されたという▼人目に付かないよう、処分は早朝に進める。元氣いっぱいワニがふびんで、こっそり荷車に載せて運び出そうとしたら1匹が逃げ、騒動になった(思い出の鴨池動物園「黙遙社」)。そんな逸話に当時の関係者の無念を思う▼今日は語呂合わせで「飼育の日」。日本動物園水族館協会が、飼育の仕事に理解を深めてもらおうと定めた。動物を穏やかに見守れる日々がどれほど貴重だろう。およそ80年前の悲劇が教えてくれる。

2025年4月19日付1面

【問1】 平川動物公園に勤める飼育員の「あるある」は何ですか。

【問2】 「すごいコアラ！」(新潮社)には、何が書かれていますか。

【問3】 「それがかなわない時代もあった」とありますが、それはいつのことですか。

【問4】 ライオン2頭、クマ7頭、ワニ4匹、ニシキヘビ2匹が殺されたのはなぜですか。

【問5】 「動物を穏やかに見守れる日々がどれほど貴重だろう」とありますが、そのために私たちができることは何ですか、書きましょう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

勤(つと)める、誇(ほこ)る
紹介(しょうかい)、迎(むか)え
みとり＝看病。また臨終(りんじゅう)に立ち会うこと。

最期(さいご)＝命の終わる時。死にぎわ。臨終。

担当(たんとう)

前身(ぜんしん)＝会社や団体が今のような前の組織。

猛獣(もうじゅう)、処分(しよぶん)

届(とど)き

ふびん＝かわいそうなこと。あわれなこと。

載(の)せて、騒動(そうどう)

逸話(いつわ)＝世の中にあまり知られていない、おもしろい話。エピソード。

無念(むねん)

語路合(ごろあ)わせ＝数字や文字のつらなりに意味のある言葉の音を当てはめること。

穏(おだ)やか

貴重(きちよう)

悲劇(ひげき)

